

科目番号	52011	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年		
科目名	分娩期診断・技術学 (Intrapartum care)					1		
						配当セクター		
						通年		
担当者	○平出美栄子、橋本 美幸 関屋 伸子、小嶋奈都子 土屋 清志、高橋 純 馬場 憲一	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	45
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 分娩期にある女性の生理的プロセスと生理的状態からの逸脱を診断するために必要な知識、科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアとこれを実践するための技術を習得する。分娩期の女性の心理的变化について学び、女性に寄り添う助産実践について探求する能力を養う。分娩期の女性と胎児の異常とその原因・要因、治療、管理について学び、その援助および予防に向けた助産ケアの実践について考える力を養う。						○ 1. 自律して自然分娩の支援ができる能力		
【目標】 1. 分娩期における女性と胎児の生理的なプロセスと生理的状態からの逸脱について理解できる。 2. 産婦の健康状態、正常な分娩経過と正常からの逸脱について根拠をもって診断することができる。 3. 科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアについて実践することができる。 4. 女性に寄り添う助産実践や分娩期における助産師の役割について考察できる。						○ 2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○ 3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						○ 4. 周産期の救急時に対応できる能力		
						○ 5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
						6. 研究・開発能力		
						7. 倫理的意思決定能力		
授業計画								
回	内容						担当教員	
1回	ガイダンス、復習						平出	
2回	分娩の生理と管理(1)						土屋	
3回	分娩の生理と管理(2)							
4回	分娩経過に伴う産婦の心理社会的変化						平出	
5回	分娩期の助産診断(1)							
6回	分娩期の助産診断(2)							
7回	分娩経過に応じた産婦ケアの検討及びエビデンス(演習を含む)							
8回	助産診断事例 演習(1)						平出、橋本	
9回	助産診断事例 演習(2)						関屋、小嶋、	
10回	分娩第1期の助産ケア(内診を含む)と分娩介助の原理と技術						平出	
11回	分娩介助技術(正常分娩介助技術—仰臥位、側臥位分娩を含む)						平出、橋本	
12~14回	分娩介助技術の演習(1)~(3)(分娩キット展開~分娩介助~分娩第IV期の技術)						関屋、小嶋、加藤(知)	
技術試験	分娩介助 前期の技術試験: 分娩キット展開~清潔野作成まで							
15~17回	分娩第1期~4期の異常とその管理について ・分娩の管理(前期破水、微弱陣痛、遷延分編への対応、41週以降妊婦の管理) ・FGR、巨大児、多胎妊娠の対応・管理 ・分娩誘発、吸引・鉗子分娩の適応・施行時の注意事項 ・感染症・分娩期の出血、帝王切開術後の管理						高橋	
18回	麻酔分娩と助産診断・助産ケア						成育医療研究センター	
19、20回	分娩介助技術演習(4)~(5) (分娩キット展開~清潔野作成~分娩第IV期、胎児付属物の観察・計測)						平出、橋本、関屋、 小嶋、加藤(知)	
21~22回	胎児モニタリング						馬場	
23回	助産診断事例 演習(3)						平出、橋本	
*講義内容の順番については変更あり								
技術試験	分娩介助後半 技術試験: 清潔野作成~第IV期まで							
事前・事後学習	事前学習: 各回の必携図書で該当する部分を読んでくる。技術については自己練習を行うこと。 事後学習: 配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。							
評価の方法	筆記テスト(前期・後期)50%、分娩介助技術テスト40%、レポート10% フィードバックは適宜行う。							
参考図書 ・資料等	◎助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期、医学書院 ◎今日の助産; 北川 真理子、南江堂、2013 ◎プリンシプル産科婦人科学1; 武谷雄二監修、メジカルビュー社、2014 ◎プリンシプル産科婦人科学2; 武谷雄二監修、メジカルビュー社、2014 ◎CTGモニタリングテキスト; 馬場一憲編集、東京医学社、2013。 ◎目でみる妊娠と出産; 馬場一憲編集、文光堂、2015。 ◎産婦人科診療ガイドライン産科編2014 日本産婦人科学会編; 日本産婦人科学会、2014 ◎ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程; 太田操、医歯薬出版、2013。 ・無痛分娩の基礎と臨床 改定第2版; 角倉弘行著、真興交(株) 医書出版会、2015。 ・成育医療研究センター産科実践ガイド改定第2版 EBMに基づく成育診療サマリー; 左合 治彦他、診断と治療社、2014。 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							